

からふる



平成27年5月 **春号**
発行：千歳市教育委員会

「からふる」は、千歳市の特色ある教育や学校の取組を広く紹介するために、年4回発行する季刊紙です。子どもたちや学校にはそれぞれの特徴があります。その個性がさらに色鮮やかに輝いてほしいという願いを込めて「からふる」と名づけました。

『学習支援員』による授業を拡充します

千歳市では、「子どもたち一人ひとりの習熟度に応じたきめ細かい指導」を行うため、平成26年度から小学校に「学習支援員」を配置しています。

今年度からは、配置校を10校から13校に拡大し、学習支援員を10名から14名に増員するなど、学習支援員による授業を拡充します。

「習熟度に応じたきめ細かい指導」って何？

習熟度別少人数指導は、1つの学級を習熟度別に2グループや3グループに分けて少人数で授業を行う指導方法です。1つのグループを少人数にして指導を行うことにより、子どもたち一人ひとりにきめの細かい指導を行うことができます。



通常授業

習熟度別授業の様子

3グループに分かれています。



【効果】

- ・たし算やかけ算などの単元テストや学力テストの成績が向上した。
- ・わからないところを質問したり、自分の考えを発表したりする子どもが増えた。
- ・子どもの集中力が増した。



グループ①

担任教諭



グループ②

担任外教諭



グループ③

学習支援員

学習支援員配置校(小学校)

千歳、北栄、末広、緑、千歳第二、日の出、信濃、高台、祝梅、桜木、向陽台、北陽、泉沢

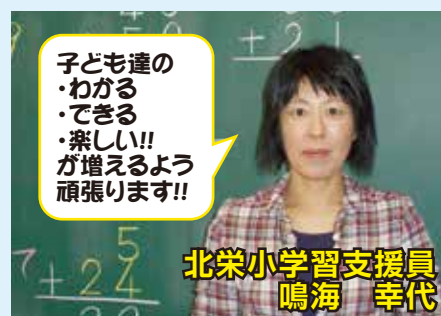
「習熟度別授業」って何？

例えば、スキー学習では、初心者、経験者等と別れて授業を行います。初心者をいきなりゲレンデに連れて行っても滑れません。スキーの履き方、歩き方から教える必要があります。一方、スキー経験者は、どんどん滑らせることにより、より難しいコースにチャレンジしたくなります。

学校での授業でも、子どもたちは授業の理解や興味に違いが生じ、「もっと基礎的なことをしっかりと振り返りたい」、「もっとたくさん問題を解きたい」などの欲求が異なってきます。

学校では、これら子どもたち一人ひとりの思いを受け止めて学習意欲を高める必要がありますので、「じっくり」、「のびのび」、「ぐんぐん」などのグループに分かれて授業を行うことにより子どもたちの集中力や発表意欲を高め、授業の満足度を高めることができます。

各小学校では、より効果的な授業を行うため、習熟度別少人数指導を実施する教科やグループ分けの方法を工夫して実施しています。



市P連が「千歳市家庭生活宣言」を作成!

千歳市PTA連合会(安藤聖司会長)では、千歳の子どもたちが規則正しい生活習慣を習得し、学力が向上することを目指し、携帯電話やスマートフォン、通信機能を持ったゲーム機などの使用に関する統一したルールを3月5日に開催した合同役員会で採択し、PR用リーフレットを全児童生徒に配布しました。

このような市内統一した家庭生活のルールは、子どもたちをネットトラブルや犯罪から守り、心身とも健やかに成長することにつながるものであり、保護者の皆さんが自らルールを作成し、各家庭で実行していくことは大変意義のある取組です。

家庭生活ルール

携帯電話、スマートフォン、通信機能をもったゲーム機などを使用して、インターネットの利用、メールのやり取りを
午後9時以降は行わない。

家庭生活目標

- 家庭での学習時間は、「学年×10分+10分」を目安にしよう
- 「早寝 早起き 朝ごはん」で規則正しい生活リズムをとろう
- 家庭で読書をしましょう

このリーフレットを各家庭に配布しています。ご家庭でお子さんとはよく話し合って「我が家のルール」を決めてください。

**家の目立つところに貼って
保護者も一緒に取り組みましょう!**



インターネット利用実態調査を実施!

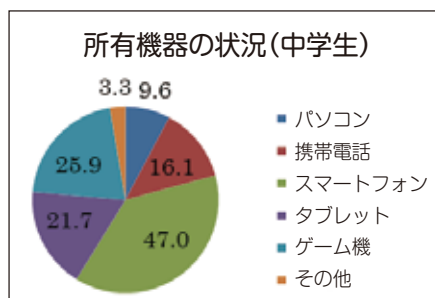
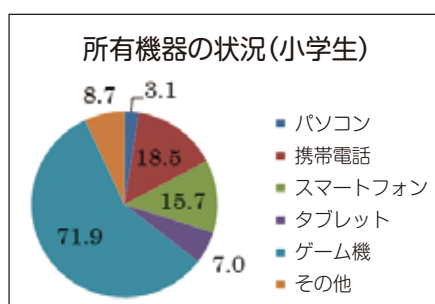
千歳市では、小学4年生から中学3年生を対象とした「インターネット利用状況調査」を実施しました。

調査の結果、小学生の87.8%、中学生の81.9%が自分専用の通信機器を所有し、機器の種類では右グラフのとおり、「小学生はゲーム機」、「中学生はスマートフォン」を多く所有している結果となりました。

『ネットの利用頻度』については、小学生、中学生ともに「ほぼ毎日利用する」が最も多く、『利用時間』は一日平均で「小学生1時間35分、中学生2時間」という結果で、中学生の18.1%が自分はネット依存だと思っています。

『有害サイトから子どもたちを守るフィルタリング』については、小学生の約55%が「どうなっているかわからない」、中学生の約46%が「設定をしていない」という状況でした。

インターネットに関わる問題については、「家庭での指導・ルール作り」が最も重要ですが、家庭・学校・関係機関が連携し、子どもたちがトラブルに巻き込まれることのないよう、本調査の結果を踏まえ、安全なインターネット利用に関わる指導の充実を図っていきます。



学校の特色ある取組を紹介します！

北栄小学校

クリエイティブ・スペース ～遊びから学びへ～



平成26年度、重点的な取組の一つである「基礎基本の確実な定着」の一環として、「クリエイティブ・スペース」を設置しました。「遊びの中で無意識に習得する学力もあるのではないか」という考えのもと、「オセロ」「囲碁」「将棋」「パズル」「かるた」など、約20種類の知育玩具をそろえました。子ども達は、フリータイムや昼休みになるとそこに集まり、それぞれ好きな遊びをしています。はじめはやり方がわからない子ども達も、上級生の遊んでいる様子を見て一緒に遊びはじめるなど、異学年交流の場にもなっています。手先と脳を連動させ、創造性豊かな子どもを育てる広場として、平成27年度も整備・充実させていきます。



クリエイティブ・スペースの様子

日の出小学校

歌声集会 ～豊かな心を育む取組～



日の出小学校では、豊かな心を育む集会活動として「歌声集会」「AKS（明るく・関わり・育てよう）ふれあい活動」に取り組んでいます。「歌声集会」は、「日の出っ子見守り隊」の方々をお招きし、歌や器楽を使った音楽発表を行い、全校ゲームで楽しみます。毎日お世話になっている見守り隊の方々へ感謝の気持ちを伝える場となっております。また「AKSふれあい活動」は子どもたちの居場所づくりの一環として始まった取組です。休み時間にフォークダンスや日本の踊りを教えてもらっています。



AKSふれあい活動の様子

富丘中学校

花の苗植え ～彩りのある地域に～



富丘中学校では、あずさ町内会生活環境部の皆様のご指導のもと、次々と花の苗を植えていき、東9線通り沿の歩道の花壇を花でいっぱいにしていきました。

みんな楽しそうに積極的に取り組む姿から、年々富丘中学校の生徒たちにボランティア意識が芽生えてきています。

花いっぱいの風景というのは、心を和ませてくれます。この活動を通して、ますます、生徒たちの心に優しさが広がり、いろいろな物事に対して仲間同士声を掛け合っ自分たちから進んで取り組む心が根付いていったら素晴らしいですね。



花植えの様子

交流サイトによる児童被害が増加！～千歳市家庭生活宣言を守ろう～

千歳市PTA連合会が作成した「千歳市家庭生活宣言」は、子どもたちの家庭生活ルールを定めたものであり、これを機会に、各家庭で子どもたちとスマートフォンの使い方や生活習慣について話し合うことがとても大切です。

警察庁の発表によると、インターネットの交流サイトを使って事件の被害に遭った児童生徒は、平成26年の1年間で1421人であり、昨年よりも9.9%、128人増加しました。また、被害児童の53.8%が、交流サイトの利用について保護者の注意を受けていませんでした。「LINE」や「カカオトーク」といった無料通話アプリのIDを交換するネット上の掲示板を通じて、見知らぬ人と連絡を取り合い、被害に遭うケースが急増しています。

子どもたちをネットトラブルや犯罪から守り、昼夜逆転などの生活の乱れを防ぐため、携帯電話やスマートフォン、通信機能付きゲーム機などを午後9時以降は保護者に預けること、フィルタリング機能を使用することなど、家庭生活ルールをみんなで守っていきましょう。市P連では、各家庭の実施状況を定期的に調査するなど、効果を検証する予定です。

とぴっくす

学校支援地域本部事業「支援ボランティア」募集中!!

学校支援地域本部事業とは、水泳授業やミシン授業、スケート授業などを地域の方々に支援ボランティアとしてサポートしていただく事業です。対象校は現在17校に拡大しましたが、より多くの方の支援が必要です。支援ボランティアに興味のある方は教育委員会生涯学習課までご連絡ください。

《支援対象校》

千歳小、北進小中、北栄小、末広小、緑小、千歳第二小、日の出小、信濃小、高台小、祝梅小、桜木小、向陽台小、北陽小、泉沢小、千歳中、北斗中



(水泳授業の様子)

キウス周堤墓群の環境整備を行います!

世界遺産登録を目指す国指定史跡キウス周堤墓群では、市内外からの多くの方が見学に訪れています。

市ではこれまでに駐車場と見学路の整備や説明板の設置を行ってきましたが、見学者の利便性向上のため「仮設トイレ」と「駐車場入口看板」を設置します。

《仮設トイレの設置期間》
4月末～11月初

《駐車場入口看板の設置》
平成27年5月



(キウス周堤墓群の仮設トイレ)

小中学校のICT機器整備が完了しました!

千歳市では、児童生徒の理解や思考を深めるため、平成25年度から「電子黒板・実物投影機・ブルーレイレコーダー」のICT機器の整備を進め、平成27年3月までに市内の全小中学校への整備を完了しました。

教科書やノートの実物を拡大したり、パソコン内の動画や画像データを表示するなど、授業の様々な場面で活用されています。

ICT機器は「特定防衛施設周辺整備調整交付金(防衛省補助)」を活用して整備しました。(電子黒板を活用した授業の様子)



図書館の蔵書検索システムがリニューアルしました!

4月1日から市立図書館の蔵書検索システムが新しくなりました。図書館カウンターにある画面タッチパネル式パソコンのほか、タブレット型端末も2台配置しました。

また、図書館のホームページに新たに加わった「ほんナビきっす」は、かわいいキャラクターがゲーム感覚でももしろい本と一緒に探してくれます。

ぜひ自分にあった本を探してみてください。



(リニューアルした蔵書検索システム)

祝梅小学校 ～わたしたちの単P活動～

祝梅小学校PTAでは、全会員の方において教職員だけでは難しい活動をサポートして頂いています。主な活動として、図書や読書の整理や読み聞かせ、「いじめシンポジウム」への参加や運動会の座席抽選会・ライン引きなどのお手伝い等があります。また、児童の登下校時の安全確保、あいさつ指導の充実のため校区内6箇所の交差点で、保護者による「ふれあい指導」を行っています。



(読み聞かせ活動の様子)

緑小学校 ～我が校の図書館～

緑小学校では、図書館教育を通して「落ち着いた生活ができる子ども」、「図書館を活用する経験と技能を持つ子ども」、「豊かな心が育っている子ども」が育つことを願い、朝読書、図書館活用の授業、おすすめ本コーナーを作るなど様々な取組を行っています。

また、図書館ボランティア「グリーンマザーズ」が、本の読み聞かせや季節の工作を作るなど、子どもたちが楽しみながら本と接することができるような活動を行っています。



(緑小学校の学校図書館)

編集・発行 千歳市教育委員会(教育委員会庁舎2階 教育部 企画総務課)

■住所: 〒066-8686 千歳市東雲町2丁目34番地

■電話: 24-0819(直通)

■FAX: 27-3743

■e-mail: kyoikukikaku@city.chitose.hokkaido.jp

■URL: http://www.city.chitose.hokkaido.jp/